第２７９０地区 ROTARY CLUB OF KASHIWA-NISHI

柏西ロータリークラブ

創立：１９７５年１１月　７日
承認：１９７５年１１月２４日

会報 第 2050 号（4 月 17 日発行）

四つのテスト
1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

インスピレーションになろう

第２０８３回通常例会 (2019.4.12)

2018-2019 年度　会長：髙田　住男　幹事：齋藤　敏文

■柏西ロータリークラブ URL.http://kashiwa-nishi-rc.com/　■第 2790 地区ロータリークラブ URL.http://www.rid2790.p/2018/

２０８３回通常例会

1. 点　　鐘　金子正　副会長
1. 会長挨拶　金子正　副会長
1. 幹事報告　安田勝紀副幹事
1. 卓　　話　柴田　均　　様
1. 点　　鐘　髙田住男　会長

会長挨拶（代読）

副会長　金子　正

本日、会長は所用（一般社団法人日税連税法データベースの会議）があり、私、金子が会長報告を代読致します。

「偶然にも、齋藤幹事についても欠席せざるを得ないことになり、会長・幹事揃って例会の欠席となってしまいました。会員の皆様、ご迷惑をお掛けします。申し訳ありません。金子副会長、会長代理どうぞよろしくお願いします。

本日は一般財団法人「柏市みどりの基金」の柴田理事長をお招きしました。理事長には同基金がどのような活動をしているかお話を頂くことになりました。みどりの基金は、北柏ふるさと公園に事務所をもち、大切な緑を将来に残していくため、みどりを守る活動をしています。毎年５月に開催される「カシニワ・フェスタ」という柏市全体をガーデンにしていく活動や、旧吉田住宅の維持管理等様々な活動をしています。また、柏西ロータリークラブと同基金とは、鈴木子郎会長時代、周年行事の一環として、みどりの基金発足時に１００万円を寄贈したとの歴史があり、深い関わりがあります。本日の卓話においては、活動状況をご紹介頂けると思います。なお、インターネットで「柏市みどりの基金」を検索すると、代表者が未だに先日卓話に来て頂いた吉川水道局管理者の名前のままになっているサイトがありますが、公式なサイトでも紹介しているとおり、柴田代表者ですから、お間違いないようにお願いします。是非、みどりの基金の活動をご理解頂き、柏において緑を守ることをご理解、ご協力、ご支援をいただきたいと思っているところです。柴田理事長さま、どうぞ、よろしくお願いします。」

幹事報告

安田　勝紀

①「ロータリーデー・希望の風コンサート」講演会の案内
　日時：5 月 22 日（水）14：00 ～ 16：00
　場所：千葉市文化センター　アートホール
②ブレザー購入希望の方は髙島屋６階で採寸して下さい
③次年度委員長会議開催
④ 4 月 20 日地区協議会について

委員会報告

①成田ＲＣ　平山　秀樹　様
　地区協議会のお手伝いのお願いに参りました。８時現地集合でお願いします。
②柏ＲＣ会長　猪早　恵美子　様
　女性活躍社会を考えるシンポジウムのご案内
　（パンフは後掲します）
③地区青少年奉仕委員会　金本　元章　委員長
　地区補助金の採点で柏西ＲＣの事業が１１０点中１１０点の満点を頂きました。１４日の委員会で決定されます。

例会日／金曜日　12：30 ～
例会場／ザ・クレストホテル柏
〒 277-0842 柏市末広町 14-1
TEL. 04-7146-1111 FAX. 04-7146-2100

事務局／〒 277-0011 柏市東上町 7-18
柏商工会議所会館 505
TEL. 04-7162-2323　FAX. 04-7166-8282
E-mail：kashiwanishi@io.ocn.ne.jp

Rotary

皆さんこんにちは、只今ご紹介頂きました、一般財団法人柏市みどりの基金の柴田と申します。どうぞよろしくお願いします。今日こちらにお邪魔したのが、実は髙田会長が私共財団の評議員を務めて頂いておりまして、昨年からちょっといろいろありまして、来年の４月だけど､話してくれないかっていうことがありましたので、今日こちらにお邪魔させていただきました。一応会長の方からいろんなことを言えということで仰せつかっているんですが、忘れるといけないのでメモを見ながら話させていただきます。

会長の方からですけど、この緑の基金の活動や、基金そのものについてあまり知ってる人がいないんじゃないか、ということで是非 PR をやってほしいということで、今日こちらにお邪魔致しました。ただ具体的にどういう話をしたらいいのかなと考えておりましたら、先月こちらの会員さんの某印刷屋さんにお会いしまして、難しい話ししちゃうとみんな寝ちゃうからダメだよと言われまして、難しい話はできませんので却ってプレッシャーになるかなと感じています。まず私どもの財団の所在なんですけども、北柏ふるさと公園ってご存知かと思うんですけども、北柏駅から歩いて 10 分もかからないとこ、手賀沼のほとりにあるんですけれども、そこに事務所が置いてあります。それで組織の方が、財団の方には事務職員として、市から出向してるものが５名いまして、それからプロパーの職員が３名。それから現場の方の実際の公園の管理ですとか、樹木の剪定をしてる作業員が８名という体制でやっております。それから吉田邸という花野井にある古民家なんですけども、そちらの管理の方で 12、３名の職員が働いていると、そのような状況になっております。この緑の基金と言いますと、基金と言うと通常お金を貯めて、その運用益で事業をやって行くという、それが本来の目的なんですけども , 今現在はかなり金利が下がっていて、ないもんですから、そういう形での事業はちょっと難しい状況になっております。その代わり市からの補助金ですとか、自前で収益事業などをやりながら事業費を捻出して事業をやっていると、そういう状況になっております。

それでこの基金そのものなんですが、できましたのがかなり古い話でして、最初に設立されたのが昭和 52 年、丁度山澤市長の時代なんですけども、みどりを守る基金条例って言うのができまして、当初 5500 万円でこの基金事業がスタートいたしました。なぜこの時期にと言いますと、当時の駅前の再開発が終わりまして、当時の人口が 22 万ぐらい、それでますます人口も増えていく、そういう時代でした。という事は、やはり宅地の需要というものが当然増えてきますので、そうなるとまた宅地の開発が進んで、その中で緑というものがどんどん失われていくんじゃないか、そういうことを懸念しまして、資金をためて緑を守っていこう、そういう考えてきたんだろうかなと思っています。その後、順調に資金の方を積み立てられたかと思ったんですが、実は全然積立が進んでおりませんでした。どうしてかはちょっと分からないんですけど、昭和 52 年から始まりましたので、翌年に市長さんが変わったりしてますので、そうした関係もあるのかなと、想像ですけど思っております。その後だいぶ時間が経ちまして、昭和 63 年度から、また積立を開始しております。63 年度には１億円。翌平成元年度に２億円。ちょっとあけまして５年度に５億円。それから６年度に４億円と、この４年間で 12 億円ほど積み上げました。なぜこの時期かと言いますと色々ありまして、今まで何で積んでなかったんだという議会等からの指摘があったということと、一番大きいのはバブルの時期だったんですね。それで財源も豊かになりましたので、積んでいったということです。それからもう一つは本多市長の時代でしたので、本多市長は北部の、常磐新線の開発も積極的に進めた一方、緑を非常に大切にされた市長でして、緑園都市ですとかそういったことで、緑を守ろうと、そういう意思が高かったんだと思います。それで今まで基金という事で、ただお金を積んでいくだけだったんですけども、今後は専属の職員を置いて、その基金の利益をうまく使いながら、実際に緑の保全活動とか、啓発活動をやっていこうという事で財団化を当時考えていた状況があります。その後平成７年度に、私共今の財団の前身になります、財団法人柏市みどりの基金というのが設立されました。この当時考えていたのが、やはり基金の果実と言いますか、いわゆる利子ですね、それを使って緑の事業をやろうと、この時に今まで基金で積み立てた財源と、それから利息。それから寄付金な

ど合わせて。15 億円を財団に柏市から寄付をしております。将来には 20 億円の積立をしようという事で財団がスタートした所です。当時基金を計画していた時期には、利息がまだ 4%から 5%あった時代でした。ですから 20 億貯めれば、かなりの仕事が出来るという状況でした。ただ平成 7 年に設立された時には、すでに利息が下がり始めまして 2%ぐらいまで落ち込んでいたような状況でした。でもまだ 2%あれば 20 億の 2%ですので、かなりの事もできるのではないかという事で、色々な事業を進めております。それから先ほど会長さんの話の中にありますように、こちらのロータリークラブさんとは非常に関わりが深くて、財団ができた時の最初の評議員を板倉茂さんに務めていただきました。それから財政的には、先ほどお話がありましたように平成 9 年度と平成 16 年に 100 万円と 20 万円をそれぞれご寄付頂いております。

財団の運営も本来の目的である利息で運用というのもなかなか上手くいきませんで、2 パーセントに金利が低下し、その後はもっと低金利で、今ほとんど金利がない状態ですので、当初考えたような基金の事業というのはちょっと断念しております。その代わり市からの補助金ですとか、市から公園の管理ですとか、施設の管理を請け負いまして事業費に充てています。当時の財団でやっていた事業として今も残っているものは、緑のボランティアという団体を育てました。今年でちょうど創立 20 周年を迎えます。当時から活動してる方々がほとんどですので、かなり高齢化してるのが問題で、次の新しい後継者、あるいは後継団体の育成が課題と考えています。それから大堀川沿いに桜の並木がずっとあると思うんですけども、こちら側の大堀川が桜の里親ということで、一口 2000 円で市民の皆さんから里親募集しまして、ずっと桜が今咲いてるというような状況でございます。それがちょっと変わったところでは、当時友好都市でした中国の承徳市、こちらに日本庭園と日本植物園を整備する名目で、それぞれ 100 万円ずつ 4 年間寄付をしております。ですから合計 800 万円ほど、中国の方に投資しました。現在どうなってるかって言うと、私まだ行ったことないんでわからないんですけど、山の奥の方にそういうものがあるということでした。写真を見ると結構綺麗な感じで出来上がっているそうです。その後、財団の事業を進めてきたわけなんですけども、平成 25 年に財団法人法が変更になりまして、今までの特例の財団法人は解散しましょうというということで、それに代わり新しく一般財団法人或いは公益財団法人というものを登記すればできますよという形に変わってきました。私共の財団も新しく移行するということで、今の一般財団法人になったところなんですけど、ただその条件として、今まで蓄えてきた基金の資産がありますね。土地、建物、現金、今までは特例、いわゆる税金の免除ですとか、色々な特例の中で築き上げた資産ですので、これは公共に返しなさいということで、事業規模に応じて年間いくらかは公益事業に投資をしろと、こういうことを条件の下で移行が認められたという事になっています。私共の財団の方では、年間で約 800 万円ぐらいずつは毎回公益に投資しなさいと。ただ、事業規模は小さいんですけど、土地を買ったりとかで、資産の部は膨れ上がってましたので、全部返し終わると言うか、投資し終わるのに、当時ですと平成 178 年ってことなってまして、とてもではないけれど、生きている時代ではないなと思ってます。新しい令和に直しても 150 年くらいありますと。いつになる事やらと思ってるんですけども、着実に公益事業に投資しています。

それで運営の方も、投資ばっかりしてると将来確かにお金がなくなって潰れてしまいますので、そのぶん稼いで行かなきゃいけないということで、収益事業も実施しております。公園の管理を受けるとか施設の管理を受ける、そういうことで収益をを得ている。それから引き続き募金活動なんかも続けておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。

それで実際どういう仕事をしているかということについてお話させて頂きますと、まず公益事業で、先ほどご紹介ありましたカシニワ制度というのがあります。これは平成 22 年度から始まったものなんですけども、市内で市民団体等が、手入れを行いながら利用している空き地のオープンスペースの利用。一般家庭で一般に公開が可能なお庭、いわゆるオープンガーデンと言われてるものなんですけど、こういうものを柏の庭、カシニワという事で位置づけをしまして、カシニワへの関心を持ってもらうことで、皆さんに緑の保全や創出、それから人々との交流促進。それから街の魅力アップなどにつなげてきたということを目的とした制度になっております。具体的には、土地を持ってる方。持ってても山林とか、なかなか自分で管理ができなくて困ってる、そういう土地を登録をしていただくと。それからどこかでそういう活動したいんだけど、そういう場所はないかなと、そういうことを考えている市民団体などの人も登録して頂きまして、それは市が仲介してマッチングさせて緑を守っていこうと、そういう仕組みになっています。このカシニワには 3 つのカテゴリーがありまして、オープンガーデンということで、一般に自分の庭を開放している方ですね。これが登録数が 62 件あります。それから未利用地を利用した地域の庭というものが 28 件。それから山林などを利用した里山、これが 20 件程登録されております。この登録された団体が一斉に公開をするというカ

シニワフェスタというのを毎年５月にやっております。今年は５月 11 日から５月 19 日までの９日間、登録された 74 箇所の場所・登録地で公開をしております。それから公開に先立ちまして、柏のモディの前の広場で、プレイベントとして５月６日の 11 時からイベントを開催する予定なので、興味のある方はぜひおいで頂ければと思います。

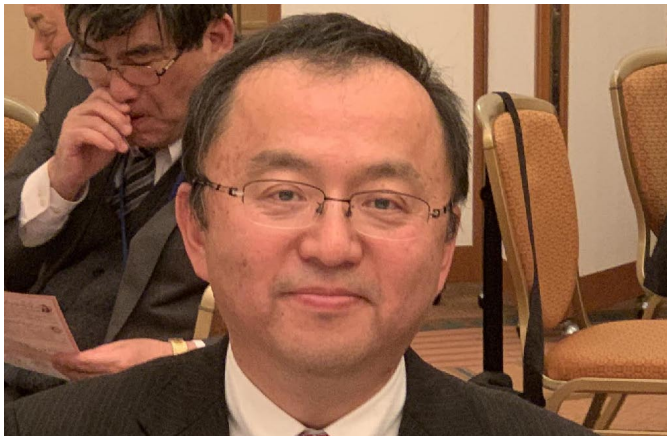
それから収益事業の方なんですけども、これは公園の管理ということで、今私共の事務所があります、北柏ふるさと公園。それから周辺の緑地公園を合わせて８つの公園の管理を請け負っております。それと指定管理といたしまして旧吉田家住宅歴史公園。こちらも管理も請け負っているところでございます。その内容につきましては、旧吉田家住宅というのはご存知だと思いますが、花野井にありまして、一番冬い古い建物が長屋門になっております。これが天保２年、1831 年度建設です。それから母屋の方が嘉永６年。1853 年になります。何時頃か分からないかと思うんですけども、ちょうどこの年は浦賀にペリーが来航した年になっておりますので、もう 150 年以上経っている、そういう建物です。私共はこの建物公開すると同時に、色んな活用しております。一つは長屋門の隣、蔵がありますので、その蔵を利用して長屋門カフェというカフェをオープンしております。それから気候の良い時期にガイド付きのツアーでランチツアーをやっております。これ非常に人気でして、だいたい８倍近い申し込みがあって、非常に喜ばれているところでございます。このランチの提供なんですけども、今富士見軒さんという昔ありました、そちらのシェフの方にお願いしております。これどういうわけかと言いますと、昔この吉田家の方で、豊四季に競馬場とゴルフ場を経営してた時期がありまして、その時レストランをやっていたのが富士見軒さんということで、その繋がりで今回監修をして頂いているという状況になっています。それから他のイベントとしては、吉田ミュージックと言いまして音楽会、それから花の市場と。そういう命名で朝市などやっております。それとこれが一番収益が多いんですけども、貸し施設の貸し出しも行ってます。多いのがテレビのドラマですとか、映画のロケなどをやっておりまして、これからかなりの収入になっているところでございます。つい先日は武蔵という映画、来月公開になる予定なんですけど、松平健さんが佐々木小次郎の役で、この吉田家の住宅を小次郎の家という形で撮影されております。もしご興味あればご覧になって頂ければと思います。それから北柏ふるさと公園、私共の事務所ががあるところに、私共は都市再生推進法人という資格を市から与えられておりまして、いろんな施設を利用できるということで、市と利便増進協定を結びまして、北柏公園の中にカフェを作りました。これは柏市で公園の中に作ったのは初めてになっております。運営の方は一般の事業者の方にお任せしまして、花小鳥コーヒースタンドというのをオープンした所です。それで今度の５月１日に、先ほど吉田家の方でもお世話になっております、吉田ミュージックのチームヒロシさんというバンドが、ここで演奏会がありますので、またご覧いただければなと思っています。それから最後に PR させていただきたいですけど、そのカシニワフェスタなんですが、カシニワの冊子を今作っております。市内の近隣センターですとか、市役所その他の場所に備え付けてあります。もし必要であれば私共にお申し付けいただければお届けすることもできますので、どうぞよろしくお願いいたします。ちょっと厚かましいお願いかもしれないけど、募金活なんかもやっておりまして、なかなか募金だけでは集まらないので、募金Ｔシャツを作りました。これも収益については緑の事業に投資していく形になっていますので、もしよろしければご検討頂ければと思います。

それでは拙い話ですがありがとうございました。

白水　志治　新入会員（推薦者　増谷　会員）

誕生日おめでとうございます！

ゲスト　柏ＲＣ会長　猪早　恵美子　様



ゲスト　成田ＲＣ　平山　秀樹　様

先週卓話の写真載せ忘れました　大久保　会員

これからの例会予定

月日	曜日	例会	卓話者・他内容
4 月 26 日	金	通常	伏野龍弥様（柏商工会議所専務理事）
5 月 3 日	金	休会	みどりの日
5 月 10 日	金	通常	水留茂之会員
5 月 17 日	金	通常	深沢裕様（東京大学物性研究所）
5 月 24 日	金	通常	安田勝紀副幹事

出席報告	
会員数	６８名
欠席者	１６名
江波戸、岡島、小林太時、小林正直、小林直人、東海林、杉山、助川、鈴木一弘、住吉、寺田、花島、細田、升谷、松本隆一郎、柳　　会員	
出席率　76.47％	

ニコニコＢＯＸありがとう！

☆ 本人誕生日：前田　会員
☆ パートナー誕生日：小溝　会員
☆ 写真ありがとう：ゲイビ、秋元、中村靖、金本　会員
☆ (^^ ♪
　浅野会員　結婚１０周年を迎えました
　平山様　　ＰＲありがとうございます

ゲスト

平山　秀樹（成田ＲＣ）　様
猪早　恵美子（柏ＲＣ）　様

次回の例会は 4 月 26 日 (金) 通常例会です。

クラブ会報委員／浅野　肇・住田　みゆき・竹澤　雅彦

卓話・会報の原稿は kwrc.photo@gmail.com までお送り下さい。

欠席報告は、水曜日の正午まで

※ LINE グループ「柏西ロータリークラブ」まで

※直前の欠席は SAA 安田 (080-5680-5460)
クレストホテル (営業課)04-7146-1122 まで

「女性活躍社会を考えるシンポジウム」案内

主催：柏ロータリークラブ

女性活躍社会を考えるシンポジウム

開催日
2019年
5月22日（水）
15時30分～18時
参加費無料
定員100名
※参加申込みが多数の場合はお断りする場合があります

日本経済の成長戦略に大きな壁となっている高齢化社会と人口減少問題、政府は2018年4月に、女性が仕事に希望を持って取り組めるよう、企業に目標値を義務付けた「女性活躍推進法（通称）」を制定し、努力を続けておりますが、本当に実現できるのでしょうか。
個々の女性が持っている能力を、最大限に実現できる社会を目指していると言われながら、一向に進む気配はありません。
一方でこうした「男性優位社会」にあっても輝かしい活躍をしている女性もおられます。その人たちはどうやって活躍できる糸口を見つけられたのか。どうやらここにヒントがあるようです。
激変する現代社会の第一線で活躍しているロータリークラブ女性経営者と共に考えます。

女性活躍社会の実現を目指して、女性ロータリアンと考える、女性活躍社会に求められるキーワードは!

会場 パレット柏 オープンスペース
住所：柏市柏1-7-1-301 DayOneタワー3F
TEL：04-7157-0280

交流会 スペイン食堂　フェスタマリオ
会費：4,000円
住所：柏市柏1-6-4　寿々喜庵ビル2F
TEL：04-7137-7782

ご挨拶
柏ロータリークラブ会長
猪早　惠美子

古来、天の岩戸に象徴されるように、社会を女性がどのように感じるかによって変化し、進歩してきたのではないでしょうか。外で働く男性に比して、生活そのものを担って生きてきた女性が、そこに感じる社会の不自由、矛盾は実体験から来ていて実際的です。そうして女性達はまず歩き出し、走りながら、どうしたら社会を良く変えられるかを考えてきました。
ロータリークラブは長く男性社会でした。女性が少しずつ増えてきておりますが、女性の感性と実行力を加えて、ロータリークラブが更に発展することを願っております。そうした思いを持って今回、国際ロータリー第2790地区第11グループの中で、実際に社会を動かし働く素晴らしい女性をお迎えして、シンポジウムを企画致しました。どんなお話が伺えるでしょうか、楽しみにしております。どうぞ多くの皆様のご参集を、心からお待ち申し上げております。

パネリスト

国際ロータリー第2790地区 ガバナーノミニー

（勝浦RC）
漆原 摂子氏
ビーエイチエス株式会社
代表取締役
（ホテルブルーベリーヒル勝浦）

（柏東RC）
正田 しづこ氏
リバースエイジングプランニング
副代表

（柏南RC）
中島 恵里氏
医療法人社団江陽会
江陽台病院
理事長

（柏RC）
田伏 奈緒美氏
株式会社帝国ホテルエンタープライズ
（ザ・クレストホテル柏　総支配人）

コーディネイター

藤田　とし子氏
まちとひと
感動のデザイン研究所
代表

パネリスト

漆原 摂子 氏（勝浦ロータリークラブ）

【事業所紹介】
ビーエイチエス（株）は、勝浦市にある海抜60m、敷地20万坪のリゾートホテル「ホテルブルーベリーヒル勝浦」の管理運営をしている企業です。このホテルは都内にある私立高校の校外施設ですが、一般のお客様のご利用も可能です。色々なタイプの客室を備えたホテル棟が自然に囲まれた敷地に点在し、レストラン、会議室、テニスコート、乗馬センター、屋外プール、多目的グランド等を備えております。緑と光のあふれる非日常的空間を体感出来ます。

正田 しづこ 氏（柏東ロータリークラブ）

【事業所紹介】
リバースエイジングプランニングは、100歳人生に向けて美と健康を目的とし、人生を豊かに過ごせるよう、遺伝子テクノロジーを駆使したスキンケア製品とサプリメントの販売・食育で、リバースエイジングライフを応援する企業です。個人様、法人様向けに、実質3週間の食育メソッド「エビスタイルプログラム」で、しっかり食べて若々しい体作り、ベストなボディメイキングにて健康経営を推進します。尚、法人向けには、プログラムと併せ、助成金のご紹介、助成金は当社の提携社会保険労務士が代行致します。

中島 恵里 氏（柏南ロータリークラブ）

【事業所紹介】
江陽台病院は、昭和58年11月に流山市北部に開設した「心ある、開かれた医療・介護サービスの実践を通じて地域に貢献する」を理念に療養病棟42床、障害者病棟107床を持ち、内科、外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科の診療科目で、慢性期の患者さんを中心に受け入れている病院です。他にも、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所も運営し、在宅でのレントゲン撮影も行なっております。江戸川台駅西口より無料送迎バスも出ております。

田伏 奈緒美 氏（柏ロータリークラブ）

【事業所紹介】
ザ・クレストホテル柏は、2000年11月「この街で受されるホテルを」をコンセプトに、柏駅西口近くに開業した帝国ホテルエンタープライズが運営するコミュニティホテルです。帝国ホテルの伝統に培われたホスピタリティを受け継ぎ、街の人との繋がりを大切にしております。規模は、客室87室、宴会場7、婚礼施設チャペル等を備えた柏駅周辺で唯一の本格的なホテル。又、レストラン「ぴすとろ菜」ではバラエティ豊かな味わいを気取らずお楽しみいただけます。柏RC、柏西RCの例会場としてご利用いただいております。

コーディネイター

藤田 とし子 氏

【事業所紹介】
まちとひと 感動のデザイン研究所代表、NPO法人柏ソーシャルキャピタル協会理事長、東京・日本橋出身。大学卒業後、㈱西友に入社。子育てのため退職後、マーケティングリサーチャー、フリーランスライター、地域情報紙記者を経て、2001年「かしわインフォメーションセンター」の事務局長に就任。「裏カシMAP」をはじめとする市民参加型手作りマップを作成するなど、情報発信を核としたまちの活性化事業に取り組む。㈱全国商店街支援センター事業統括役を経て、2011年「まちとひと 感動のデザイン研究所」を設立。地域活性化アドバイザー及び講師として全国で活躍する一方、柏市の中心市街地活性化、まちづくりに取り組んでいる。

会場のご案内　パレット柏 オープンスペース

【住所】　〒277-0005
柏市柏1-7-1-301 DayOneタワー3F
【TEL】　04-7157-0280

JR常磐線柏駅より徒歩3分

なるべく公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの場合は、周辺の有料駐車場をご利用ください。

※ 身障者用駐車場は、最寄のDayOneスクエア内駐車場（マルエツ東口店上階、有料）に区画されていますが、車の乗降のみであれば、搬入スペースをご利用いただけます。乗降が済みましたら近隣の有料駐車場に移動をお願いいたします。
※ 身障者が搬入スペースから施設へ出入りする際に、介助の必要がある場合は、可能な限りお手伝いをいたします。総合受付までご連絡ください。

女性活躍社会を考えるシンポジウム参加申込書

≪ご記入の上、FAXもしくはメールにて、柏ロータリークラブへご返信くださいませ≫

FAX 04-7186-6011　Mail rc-kashiwa@io.ocn.ne.jp

所　属	
ふりがな 氏　名	
住　所	〒 ※勤務先の住所を記入の場合、勤務先名称（　　）
TEL	
交流会	□ 参加します　　□ 参加できません